

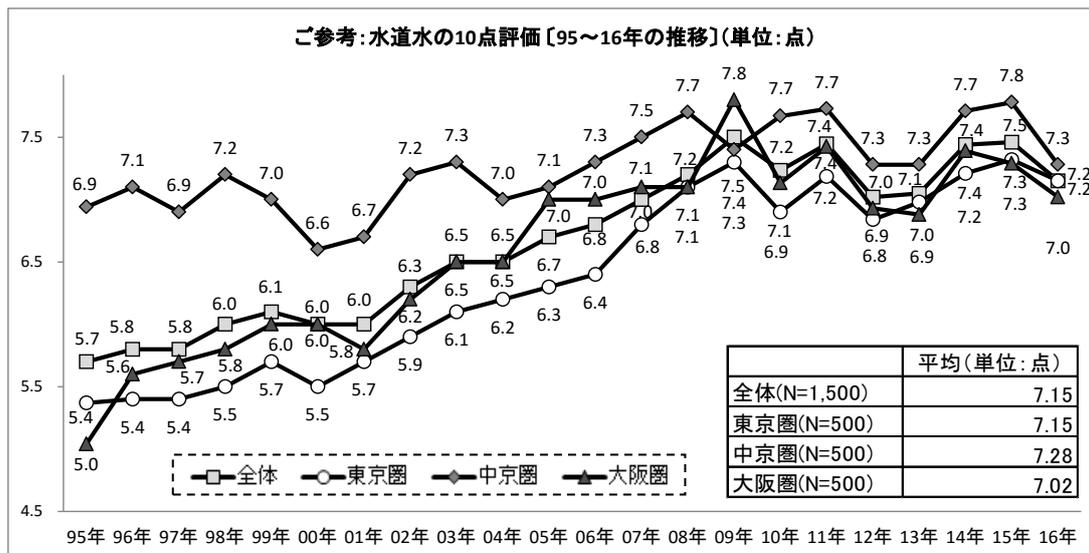
水道水に関する意識／東京・大阪・中京圏

【水道水への評価】

Q.水道水を10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

◇全体の平均は7.15点

水道水に対する評価を10点満点で聞いたところ、全体の平均は、昨年(7.46点)から0.31ポイント減の7.15点、東京圏は0.17ポイント減の7.15点、中京圏は0.5ポイント減の7.28点、大阪圏は0.27ポイント減の7.02点でした。得点の内訳を見てみると、10点満点をつけた人が全体で昨年(16.7%)から5.0ポイント減の11.7%だった他、東京圏で3.0ポイント減の11.4%、中京圏で9.0ポイント減の14.0%、大阪圏で3.2ポイント減の9.6%と、いずれも数値を下げる結果となり、中でも中京圏の低下率が目立ちました。



対象エリア：1995年…東京都、大阪府、愛知県、1996～2014年…東京圏(1都3県)、大阪圏(2府1県)、中京圏(3県)
有効回答数：1995～2009年…443～553、2010～2016年…1,500

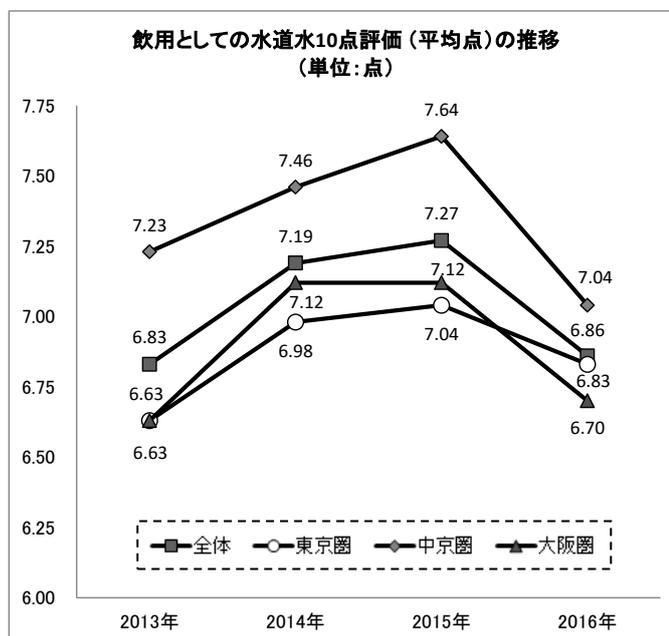
Q.水道水を飲用水として10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

◇全体の平均は6.86点

次に、飲用目的に限定した場合の水水道水評価を前述の全般的な水道水評価と同様に10点満点で聞いたところ、全体の平均は、昨年(7.27)から0.41ポイント減の6.86点、東京圏が0.21ポイント減の6.83点、中京圏が0.6ポイント減の7.04点、大阪圏が0.42ポイント減の6.70点となり、こちらも全般的な水道水評価と同様の傾向を示しました。

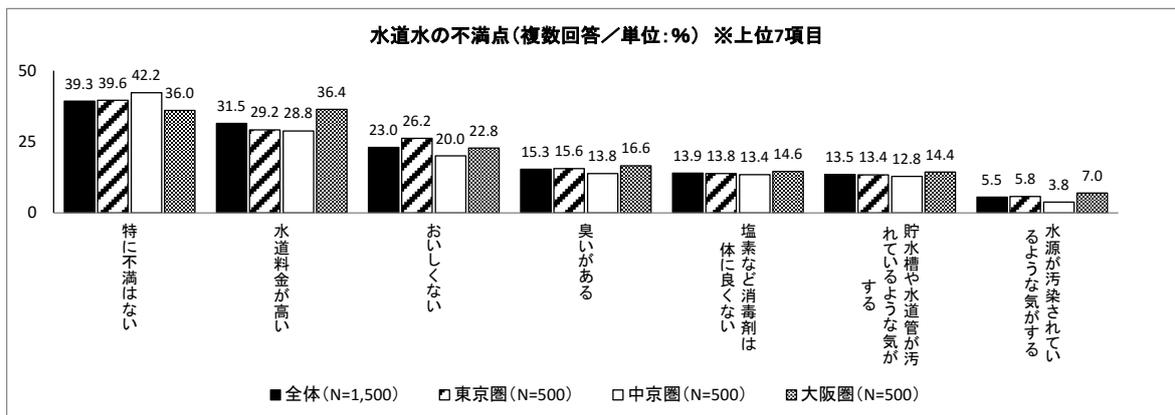
飲用としての水道水 10 点評価(平均点)

	平均(単位：点)
全体(N=1,500)	6.86
東京圏(N=500)	6.83
中京圏(N=500)	7.04
大阪圏(N=500)	6.70



Q.水道水について不満を感じていることは？（8択＋その他＋特に不満はない）

◇1位は昨年同様で「特に不満はない」。数値も4割近くに上昇
不満の上位の中では、「おいしくない」、「臭いがある」の数値が微増



「水道水に対する不満」を聞いたところ、昨年と同様に「特に不満はない」(39.3%)が全体のトップで、数値も昨年から3.1ポイント増加しました。

一方、不満の上位3項目は「水道料金が安い」(31.5%)、「おいしくない」(23.0%)、「臭いがある」(15.3%)で、中でも「おいしくない」は昨年から1.8ポイント増、「臭いがある」は2.0ポイント増と、ともに数値がわずかながら上昇しました。

◇“味”や“臭い”に不満を持つ人は、水道水評価の平均点が特に低い結果に

不満点別の水道水10点評価(平均点)

不満点	平均(単位:点)
全体(N=1,500)	6.86
特に不満はない(N=589)	7.81
水道料金が安い(N=472)	6.65
おいしくない(N=345)	5.26
臭いがある(N=230)	5.17
塩素などが体に良くない(N=209)	6.03

前述の「飲用としての水道水10点評価」を、上記の水道水への不満点別でみると、「特に不満はない」人の平均が7.81点と、「全体」の平均(6.86点)を大きく上回りました。また、「水道料金が安い」と回答した人の平均は、「全体」の平均点に比較的近い6.65点だったのに対し、「おいしくない」や「臭いがある」といった“飲むこと”に直接関わるような項目を回答した人の平均は、それぞれ5.26点、5.17点と「全体」の平均点を大きく下回りました。

「ミツカン水の文化センター」と「水にかかわる生活意識調査」について

ミツカングループは1804年(文化元年)の創業以来、食酢の醸造を社業の中心としてきました。食酢の醸造に水は欠かせないものであり、ミツカングループは水の恩恵を受け、水によって育てられてきたといっても過言ではありません。それだけに、ミツカングループの水に対する関心は創業当時から一貫して高いものがありました。

1999年1月に、「水の文化」に関するさまざまな研究や情報交流活動を推進していく母体として「ミツカン水の文化センター」を設立。センターでは研究活動、機関誌「水の文化」の年3回の発行、ホームページでの情報提供、市民参加型ワークショップ「里川文化塾」の実施など、様々な活動を行っています。

「水にかかわる生活意識調査」も「ミツカン水の文化センター」の活動の一環として実施しているもので、研究事業や、一般生活者の啓発活動の基礎資料として有効活用頂くことを目的としています。